

日本の神々の系図 じゃよ



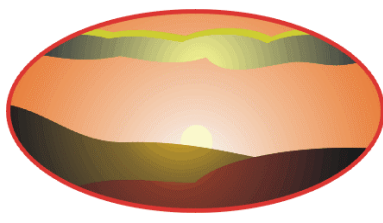
日本神話の根元神
造化三神
① ② ③

ことあまつかみ
別天神
① ② ③ ④ ⑤
天地創造時代

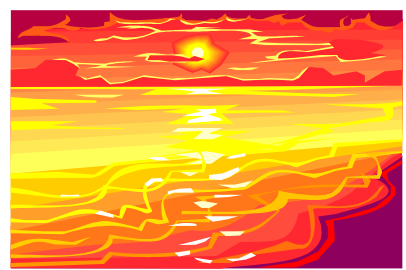
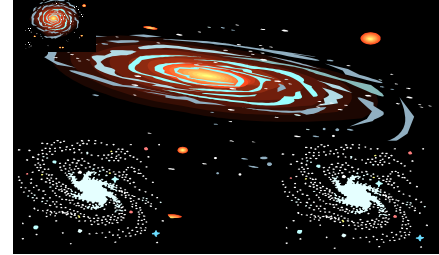
かみよななよ
神世七代

表示説明

- 夫婦関係
- 親子関係
- 次への流れ



遠い昔、世界は天もなく地もなく、ただ何かが混沌として渦をまいていました。時間が経つうちに、それが別れて、天と地になりました。



少彦名神 (すくなひこなのかみ)
神産巢日神 (かみむすびのかみ) の指の間より生まれる
大国主神といっしょに国づくりをしたあと
常世の国(とこよのくに)へいかれる = 海の彼方の国
一寸法師の説



この2神は、聞いたことがあるよね!



(あめのぬぼこ)
「天の沼矛」によって「オノコロ島」を創る



「国づくり」がはじまる

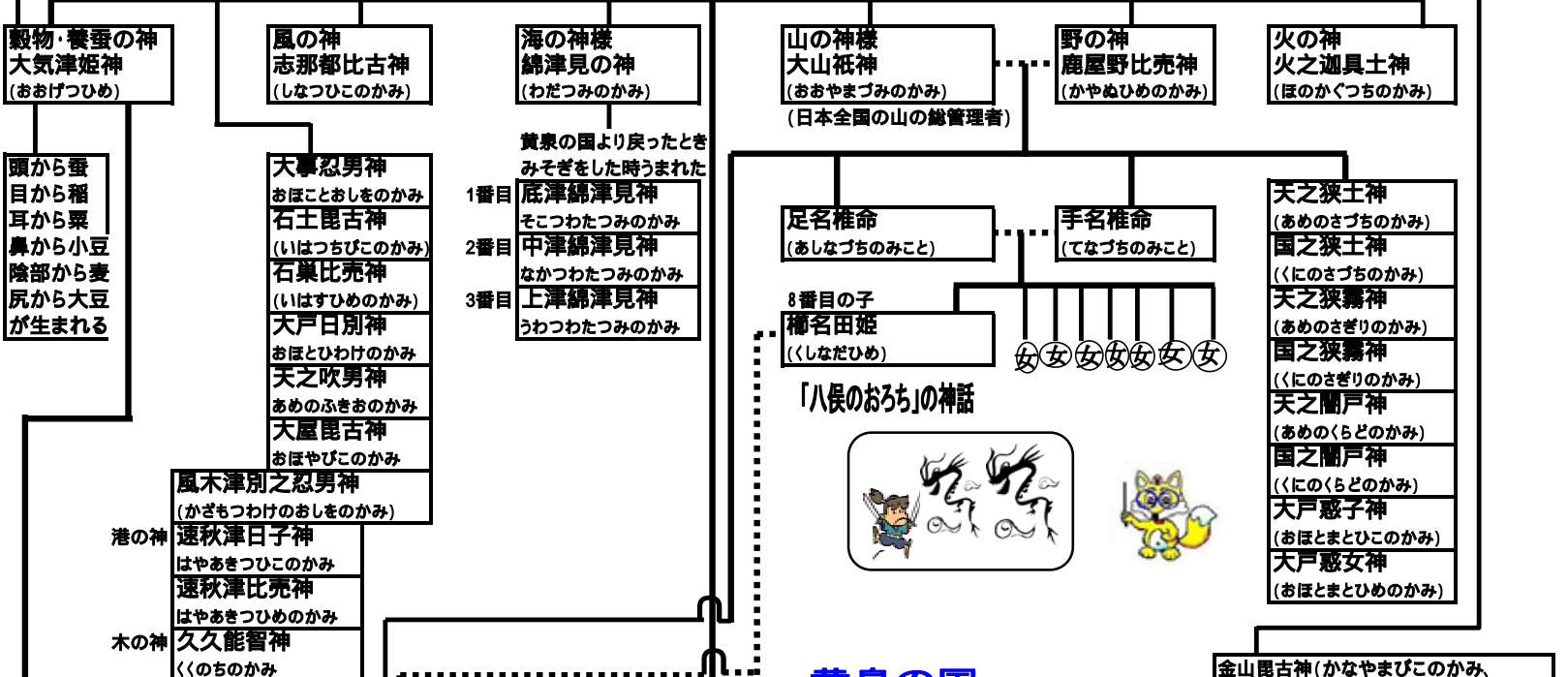
「すさのうのみこと」に食物をあたる自分のからだから食物を出し「すさのうのみこと」は汚いと言いつり捨ててしまう



最初の子
蛭子神、蛭子命 (ひるこのみこと) えびす様との説

神産みをした時の子

最後に生む



頭から蚕
目から稲
耳から粟
鼻から小豆
陰部から麦
尻から大豆
が生まれる

大事忍男神 (おほことおしのかみ)
石土毘古神 (いはつちびのかみ)
石粟比売神 (いはすひめのかみ)
大戸日別神 (おほとひわけのかみ)
天之吹男神 (あめのふきおのかみ)
大屋毘古神 (おほやびこのかみ)
風木津別之忍男神 (かざもつわけのおしのかみ)

海の神様 綿津見の神 (わたつみのかみ)
黄泉の国より戻ったときみそぎをした時うまれた
1番目 底津綿津見神 (そこつわたつみのかみ)
2番目 中津綿津見神 (なかつわたつみのかみ)
3番目 上津綿津見神 (うわつわたつみのかみ)

山の神様 大山祇神 (おおやまづみのかみ) (日本全国の山の総管理者)
足名稚命 (あしなづちのみこと)
手名稚命 (てなづちのみこと)
8番目の子 櫛名田姫 (くしなだひめ)
「八俣のおうち」の神話

野の神 鹿屋野比売神 (かやぬひめのかみ)

火の神 火之迦具土神 (ほのかぐつちのかみ)

天之狭士神 (あめのさづちのかみ)
国之狭士神 (くにのさづちのかみ)
天之狭霧神 (あめのさざりのかみ)
国之狭霧神 (くにのさざりのかみ)
天之闇戸神 (あめのくらどのかみ)
国之闇戸神 (くにのくらどのかみ)
大戸惑子神 (おほとまとひこのかみ)
大戸惑女神 (おほとまとひめのかみ)

金山毘古神 (かなやまびこのかみ、イザナミの吐瀉物から生まれる)
金山毘売神 (かなやまびめのかみ、イザナミの吐瀉物から生まれる)
波瀆夜須毘古神 (はにやすびこのかみ、イザナミの大便から生まれる)
波瀆夜須毘売神 (はにやすびめのかみ、イザナミの大便から生まれる)
彌都波能売神 (みつはのめのかみ、イザナミの尿から生まれる)
和久産巢日神 (わくむすひのかみ、イザナミの尿から生まれる)
和久産巢日神には以下の一柱の子がいる
豊宇氣毘売神 (とよけびめのかみ)

黄泉の国
火之迦具土神 (ほのかぐつちのかみ) を生んで「いざなみの神」が死んだあと、「いざなぎの神」が黄泉の国より戻ったとき「みそぎ」をした時うまれた

「いざなぎの神」が顔を洗って生まれた三貴子 (みはしらのうずのみこ)

鼻を洗って3番目 弟 (海を治める) 須佐之男神 (すさのおのかみ)
鳥根の須佐神社
関東一円の氷川神社
全国の熊野神社

右目を洗って2番目 (夜の国を治める) 月読神 (つよみのかみ)

左目を洗って1番目 姉 (高天原(たかまがはら)を治める) 天照大神 (あまてらすおおみかみ) (高天原の主宰者で皇室の祖先神、) 伊勢神宮



あまのやすかわ
天安河

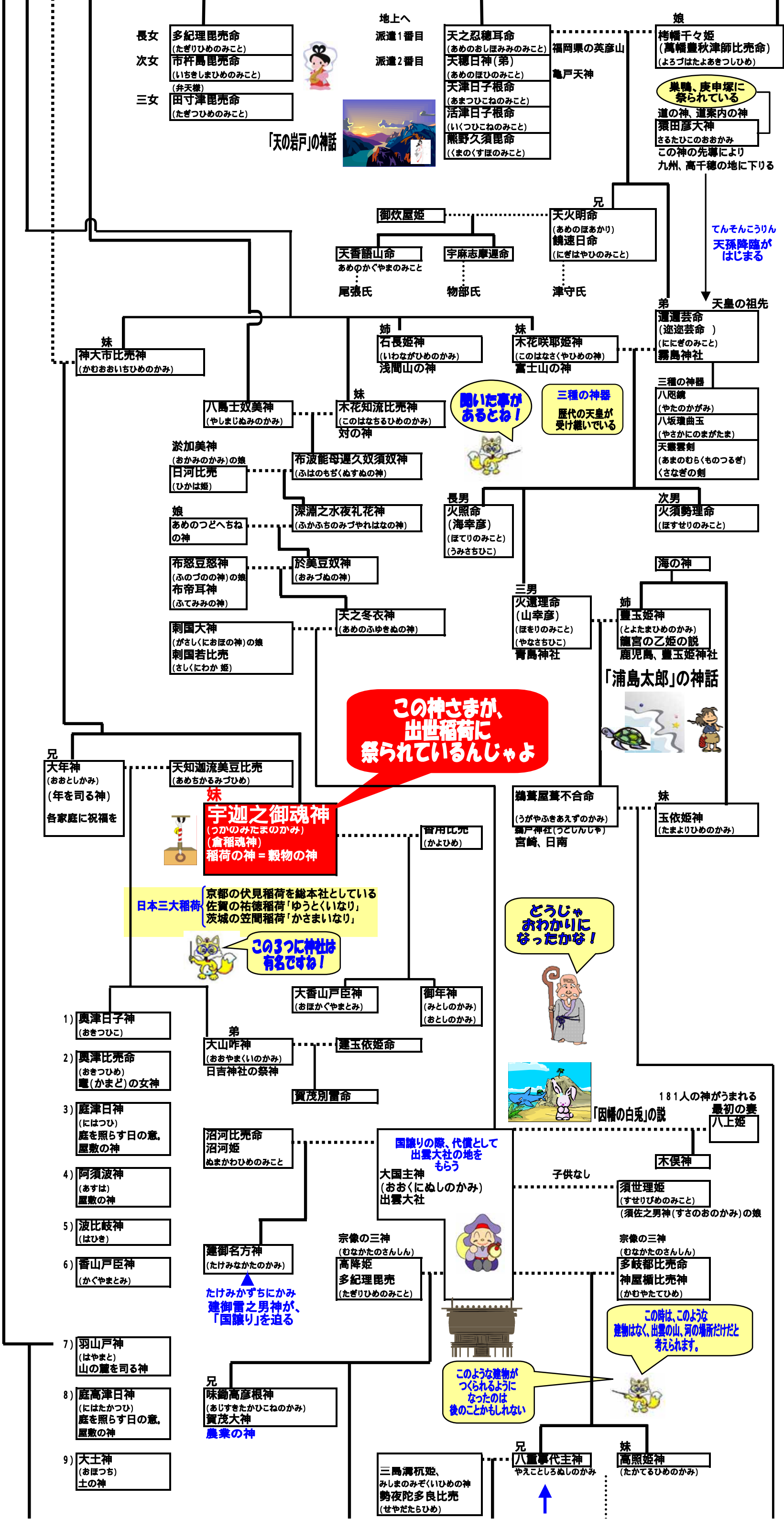
「あまのやすかわ」にて誓約(うけい)を行う
誓約(うけい) = 神に誓って事の正否を決める呪礼 (お互いに心の証を立てる)

剣によって生まれた宗像の三神 (むなかたのさんしん) 女神

数珠から生まれた五柱 (男神)

この3人の神さまは学校で習ったことがあるでしょ!





- 1) 若山昨神
(わかやまのい)
山の神
- 2) 若年神
(わかとし)
- 3) 若狭那売神
(わかさなめ)
田植えをする早乙女の意
- 4) 弥豆麻岐神
(みづまき)
水撒き・灌漑の神
- 5) 夏高津日神
(なつたかのひ)
夏の高く照る日の神の意
- 6) 秋毘売神
(あきびめ)
秋の女神
- 7) 久久年神
(くくとし)
稲の茎が伸びることの意

妹
下照姫神
(したてるひめのかみ)

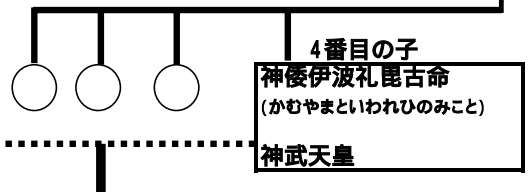
派遣3
天若日子神
(あめのわかひこのか)
アマノジャクの説

還し矢

たけみかずちにかみ
建御雷之男神が、
「国譲り」を迫る

賀茂氏

瓊璣輔五十鈴媛命
ひめたたらいすずひめのみこと
神武天皇の皇后



4番目の子
神倭伊波礼毘古命
(かむやまといわれひのみこと)
神武天皇

天皇系図へ

なるほど
このような生い立ち
なんだ!

8) 久久紀若室葛根神
くきわかむろつなね
新しい室を建てて葛の網で結ぶの意。

